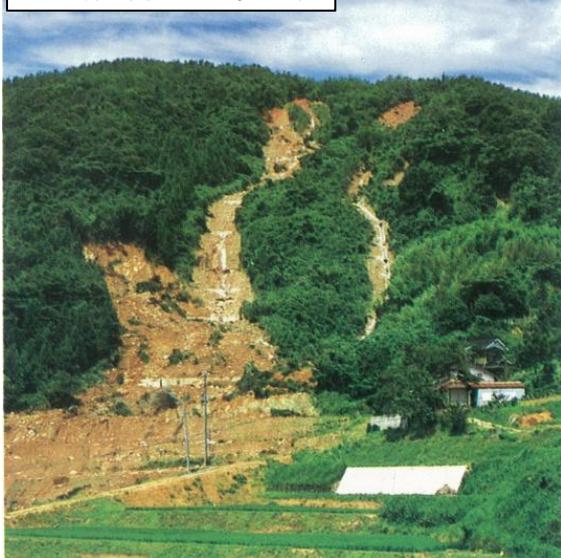
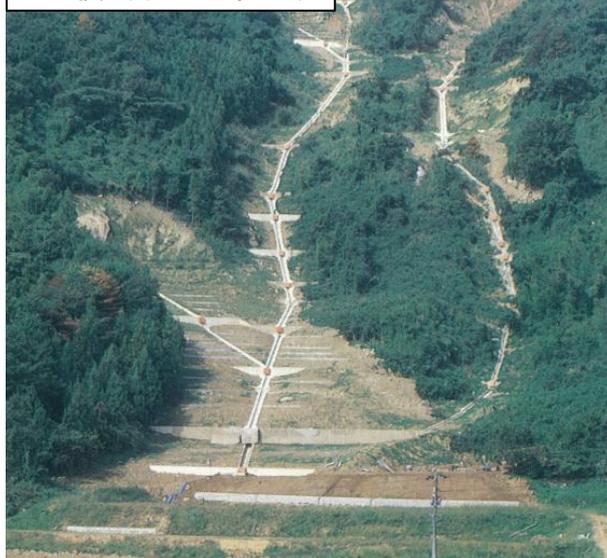


45 昭和58年に発生した大災害の記憶を伝える災害復旧治山事業 島根県（浜田市ほか）

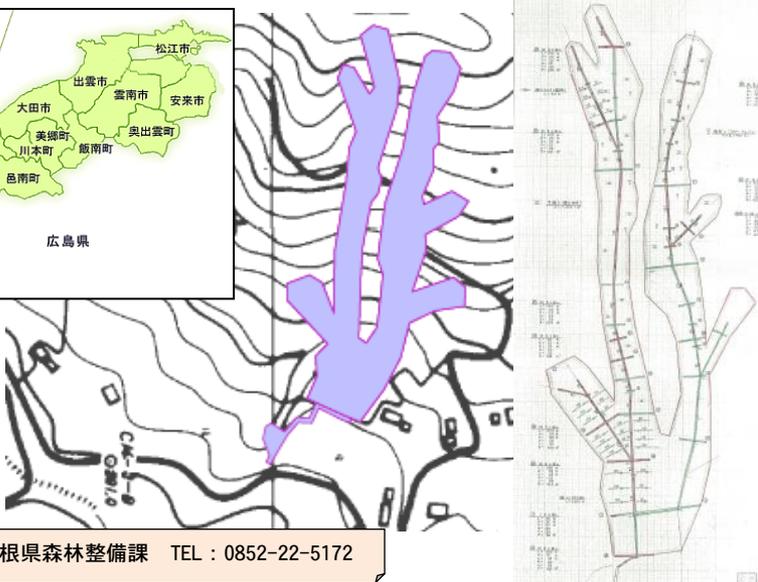
施工前（昭和58年7月）



施工後（昭和59年8月）



現在の状況



○所在場所

島根県 浜田市 三隅町 井野 ほか

○施設・工法の概要

溪間工、山腹工

○解説

昭和58年7月、島根県西部を襲った集中豪雨は、死者・行方不明者107名、被害総額3,660億円に及ぶ大きな惨禍をもたらしました。この災害の特徴は、犠牲者の85%が山崩れや土石流によるものであり、集中豪雨に加え、本県全域が特殊土壌地帯であることも大きな要因となりました。

こうした状況の中で治山施設は至る所で被害を最小限に抑え、山村地域に住む多くの生命財産を守りました。

また、災害復旧により設置された治山施設は現在豊かな緑に埋もれてしまいましたが、長く県民の記憶に残り、引き続き県民の生命財産、安全と安心を守り続けています。